

11. 白米千枚田愛耕会

棚田名	白米（しろよね）の千枚田
所在地	石川県輪島市白米町
百選等の認可	棚田百選、米づくり百選、手づくり観光地百選、（輪島市・石川県・国）各指定文化財名勝
棚田の概要	総枚数は1,004枚。水田耕作914枚、休耕田54枚、畑36枚。
保全団体	白米千枚田愛耕会
設立年	2006年（平成18年）
沿革	1982年から愛知県安城東高校、輪島市職員、連合石川によるボランティア耕作を実施。2006年、農協を定年退職した堂前氏が同級生に呼びかけ白米千枚田愛耕会を結成。
代表者	堂前助之新
問い合わせ先	輪島市産業部観光課 0768-23-1146 白米千枚田オーナー制度事務局 TEL. 0768-23-1146 FAX. 0768-23-1855
会員	4名
主要メンバー	
拠点施設等	打ち合わせ等は会員の家で行う。とくに拠点や設備はない。
ポリシー 又は活動の方向性	オーナー会員、トラスト会員や愛耕会が保全活動を行っているのは914枚ある水田のうち、147枚のみ。他は各団体が個々に管理しており、地元（白米町）主体の千枚田景勝保存会は後述のとおり千枚田全体を管理できる状況にはない。このため、千枚田全体の保全を一括して行う新たな組織（NPO法人等）を早急に立ち上げ、各団体の活動を組織化して千枚田全体の景観保全を図ることが最大の課題。また、保全に必要な資金や人出を確保するため、企業協賛等を募ることも課題。
活動状況	
運営資金	オーナー会費
広報ツール	ホームページ等
協力者	作業協力者約30名
市民交流制度（オーナー制度など）	2007年からオーナー制を実施。マイ田んぼを持つことができるオーナー会員（44～47名）と、田んぼは持たないがオーナーとともに保全活動に参加するトラスト会員（24～27名）、PR活動を行う著名人の特別名誉会員（3～4名）で構成。愛耕会はオーナー田の日常管理や会員等による作業の指導にあたっている。会員募集や会員管理は市観光課が担当。田植え前夜にオーナー会員、トラスト会員との交流会を行っている。
棚田米販売	小泉元首相の発言に因んだ「絶景セット」を2006年から年100セット限定販売。
特産品開発	「絶景セット」のみ
直売所	なし
定期的イベント	
地域の状況	
直接支払の状況	
地域おこしグループ等	地元（白米町）には千枚田景勝保存会があるが、耕作者の減少・高齢化が進み、オーナー制度の運営等は困難。「あぜの万燈（あかり）」等のイベントについては、地元観光協会・市からなる千枚田景勝保存実行委員会で実施し、愛耕会は現場での諸作業をサポートする役割を果たしている。
後継者対策	
I・U・J・Oターン	輪島市三井町（能登空港近く）に埼玉県から移住し有機農法で米作りをしている方が1名
ボランティア受入	田植え、稲刈りでのべ300～350人、草刈りも合わせて年間のべ約1,000人。
行政の支援	
備考	第7回棚田サミット開催（水と心のダムサイト日本海の風に乗せた先人の英知）